

平成18年7月6日
港 湾 局

「我が国産業の国際競争力強化等を図るための今後の港湾政策のあり方」 の交通政策審議会への諮問について

近年、我が国を取り巻く貿易構造は大きく変化しており、特に、中国をはじめとするアジア地域の経済成長は著しく、世界における生産拠点、また市場としてさらに発展することが見込まれています。今後、我が国とアジア地域の経済交流はますます拡大し、アジア域内物流が準国内物流化する中で、相互依存関係が深まることが予想されます。

こうした情勢に対応するため、港湾政策においては、我が国港湾の国際競争力を強化しつつ、スピーディーでシームレスかつ低廉な国際・国内一体となった物流の実現が求められています。

一方、近年の景気回復等に伴う産業立地の国内回帰、物流の高度化等に対応した臨海部空間の効果的かつ効率的な活用も求められています。

以上の認識を踏まえ、日本経済の活性化とより豊かな国民生活の実現に向けて、今後の港湾の整備、管理及び運営のあり方について審議していただくために、交通政策審議会に諮問しました。

【審議に当たっての主な視点】

1. スーパー中枢港湾政策の充実・深化
2. 東アジア地域の経済発展に対応したスピーディーでシームレスかつ低廉な物流ネットワークの実現（コンテナ/RORO/フェリー輸送等への対応）
3. 我が国の基幹産業を支える港湾機能の充実（バルク貨物輸送等への対応）
4. 国際水平分業の進展、生産拠点の国内回帰化等の動きに対応した臨海部の効率的な土地利用のあり方

【スケジュール】

交通政策審議会へ諮問（港湾分科会へ付託） 7月6日
次回港湾分科会開催予定 9月頃
（今年度3回程度開催。来年度も引き続き審議し、同年度中に答申をとりまとめる予定。）